

成人向け書籍

860

Color Classic Situation Note
Extension III

KEYSTONE



Color Classic Situation Note Extension 03

Eighty Sixty

うっわ……
見えるかアレ

ああ……よく
見えてるよ

あそこにいるの……
四人の戦闘機人だろう？
それが何でこんな……



詳しい事は
言えないの
一点張りだ

所長は
なんて？

とりあらず
あのメガネの女の
言う事には絶対
逆らうなって

んッ



ほらほら、
ちゃんとして
最後の一滴まで
飲み干してッ

でも...
何で高町
教導官が？

分からぬけれど...
あの四人...
JS事件賭みだら？

吐いたり
したら罰...
与えますからねえ

じゃあ逆恨み
みたいなものか...
気の毒に...

ん
ん
ゴッ



んっ…
…ふあッ

はあッ

はあッ

はいそこで
一息つかないッ

ちゅん

は…あッ

トッ
ハッ
ッ



何度言ったら
分かるん
ですかあ？

うっわ…

フェラの後は
必ず言うように教えた
台詞があったでしょう？



チ…チン…ホを
舐めさせて…くれて…
…有難うござい
…ました

精液と…っても
おいしかった…
…です

ハッ

ハッ
ハッ

声が小さい
けど…
まあ宜しい

まったく…
高町さんは出来の悪い
生徒で困りますねえ



はい
じゃあ次

隣っここにいる
その女局員さん
出番ですよ

え？

へえ……そお
じゃあ今日はその
憧れの上官をあなたが
負かしちやいましょう

あなたは
この女の事……
どれくらい
知ってますう？

え……

おど

本局教導隊の……
エース・オブ・エース……
高町教導官です
みんな……尊敬しています

おど

いーですか？

この布を思いっきり
引っ張って……
引っっこ抜きなさい

楽しい綱引き
勝負をしましょう



ちよつと誰か……
足を固定できるもの
何か持ってきて
くっさいない
はい……そこ持って……
柱にくくりつけて……

あの……
尻から出てるアレ……
……何なんだ？

ついきつきな……
へっど……
丸々一枚……
入れられたんだ

ホント
かま……



いいですかあ？
数をかぞえますから…
30までに引っこ抜き
終わったら
局長さんの勝ち

…っであなたは肛門
目いっぱい締めて…
全部抜かれないよう
耐えてなさい

う…っ

……



一生懸命やってるか
どうかなんて
見てりや分かるん
ですからねー

お互い
くれぐれも力を
抜いたりなんて
しないように



はいそれじゃ
勝負はじめッ

さあ早く
引っ張ってッ！

す…っ

すみませんッ

……ッ！







ああ...すげえ...
あの高野教官が...
監われてるよ

何か...抵抗とかしてる
雰囲気はあるけど
さすがにあんな風に
ナンコぶち込まれてたら
エースの威嚇はねえよな

おい...そんな
こと言うなよ

男とか女とか
関係ねえな...
手当たり次第に
馴わせてやがる

うっふふー
のふー

同僚に犯される
今のあなた

最高に惨めで
素敵ですよ

だけど……
おかしいですねえ
私たしか
こういう時用の
台詞も教えておいた
はずですけど

はあッ
はあッ
はあッ
ちゃんとして
ポーズ込みで
言っごらん
なさうい

わッ……
私……は……ッ……
一日中ッ……身体が
火照っぱなしの……
淫乱……魔導師ですッ

私の……ピンピンに……
勃った乳首とッ
ずぶ濡れの……お……
……おまん……こッ
みんなで……
もっと可愛がって……
……く……たさ……いッ

そんなわけで
この変態女……
遠慮なく輪姦
しちゃって
下さいねえ

はあ……

はい皆さん
聞こえましたかあ？

はあ……





エロキリッ
良いですよお

皆さんよく
覚えておいて
下さいねえ

あなた達が
エースオブエースと
謳っている女の
頭とろけちやってる
そのめぞを

女の尻貞さんは…
敏感なトコ舌で
思いつきり
返め回すッ

男の尻貞さんは
肉棒でたっぶり
突きまくって

こーんな
おっかない魔道師
でもあなた達が
力をあわせれば

いくらでも
ビィビィさせる事が
できるんですよ

は…お

は…お

は…お

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ



な……は
……ちゃんク！

……の……は
ちゃんク！



ん……

……なの
はちゃんツ?

……なの
はちゃんツ!

気が付い
たか?



はやて……
……ちゃん?

スカリエツティの
聴取が終わった後な

すぐにあの4番との
面会を止めるよう
通達したんやけど……
その時は……もう
……酷い状態で……

なのはちゃんは
既に気を
失ったんよ

私……

そ……
……う



ちなみに私
どれくらい眠って……
それに何で
はやてちゃん……
騎士甲冑を

うん

ちよつと……
事態に動きが
あってな

なのはちゃんの
おかげで一応
あの寄生体に関する
情報を引き出せたよ

ゴクッ





主はやて…

高町一人を
行かせて本当に
大丈夫なんですか？

そりや…単独
行動が最良や
ないのは確かや

せやけどこれは
これで納得せな
あかん



スカリエツティの
話が正しければ

フェイトちゃんに
寄生したあの生物を
どうにかできるのは
現実的に
なのはちゃんだけ

ま…それが直ちに
単独行動をせなあかん
理由にはならんけど
…なのはちゃんの
思うところがあつての
提案やと思う



なのはちゃん
自身がそう
望んだんやからな



地上本部の方も
意外に配置に文句言うて
こなかったしな
クラナガンが近いから
守り重視でいくつて
言うたら納得してたよ

それに病棟の
皆さんも退避済み
やから一万一にも
市民への被害は
出んやろうし

そうですか



まあ幸いというか…
まだフェイトちゃんは
昏睡中
頼むで
なのはちゃん…

今の
うちなら
簡単にコトが
済むはずや…

C102…
C103…

あと
一つ隣だね

ゴッ
ゴッ

あんな……
なのはちゃん

……

んん……

ん

気を悪くせんと…聞いてや

ん……

ジュ……

フェイトちゃんとキス………した事…あるよな？

え……？

なになんて……
いきなり
そんな事……

どういう事を
利かしたんかは
分からへんけど
スカリエツティが
なのはちゃんの
身体について妙な事を
言い始めてな

『Fのニオイ』を
感じ取ったって



ガーン



体液だけは「F」と分かる
少し特殊な成分らしくてな

なんでも…
普通の人間と
変わらない
フェイトちゃんの
身体やけど



フェイトちゃんにしか
寄生しないプログラム

それを私の中にある
その『Fのニオイ』で
誤作動させ—



もしも普通の人間が
それを取り込んだら
何かしらの反応が
起きて体内に痕跡が
残る言うてきて

それをあの男は
『Fのニオイ』と
例えてきたんや

ゴウ…
ゴウ…



一匹残らず
私の身体に
誘導するッ

ス…



この毒物を使えば
きつと私の身体に
乗り換えよつと
移動を始めるはず

そのためには
まず衛生体には
フェイトちゃんの
身体を居心地の
悪いものに

それで……
これは私の勝手な
予想やけど

なのはちゃん…
以前におそらく
フェイトちゃんと
そういう

あとは私が
寄生される前に
空間攻撃で
一斉に...

フェイト
ちゃん...

イヤなもの
体に入れるけど
...苦しいの
少し我慢してね



...遅いよ

...なのは



ガッ

せやけど
こんな時のために
レイジングハートには
通信妨害があっても
こっちに通じる
緊急信号を積ませてる

それでも敢えて
助けを求めてこんのは
なのはちゃんの意思や

…遅いな

…なのは
ちゃん

高町の身に
何か起きて
いるのでは…

実は…さっき
報告があった
病棟に設置した
サーチャイの映像ほか
内部からの通信が
全て止まったそうや

通信妨害…

間違
い
ありませ
ん
すぐ我々
も
向かいま
しょう

あと少しだけ
……待とう

フフフ…

ホワ…

ホワ…

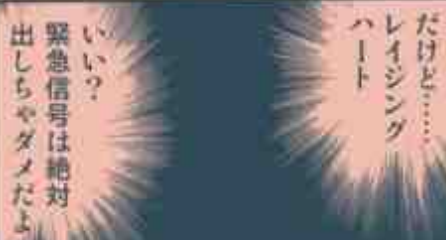
彼女は聖王とキミとの
殺し合いを見たい一心で
物事の進め方を誤った

クアットロが以前
似たような状況を
作り出しただろうが



遅かっ…た

寄生体が
フェイトちゃんを
完全にのっどつて
しまってるッ



だけど…
レイジング
ハート

いい？
緊急信号は絶対
出しちゃダメだよ



しかしマスター

状況の悪さに加えて
この拘束魔法も厄介です



先程のジャケット分解と似た
悪質なプログラムが
仕込まれているため
マスターでも最悪
手こずるかもしれません

信号を使うと
地上本部にも状況を
知られる

フェイトちゃんの
こんな姿を
他の誰にも見せる
わけにいかない



はあ…

やはり…
場合ならまず

はあ…

自分で自分の身体を
傷つけて見せ…

己を人算に
とるのが正攻法
つてもんだらう

今はとにかく……
…チャンスを
待とう

その喋り方……
まるで
スカリエツティと
話してるみたいだね

ふふ……
分かるかい？
そうだよ私だよ
高野なのは……
スカリエツティだ

せいぜい あなたを
模した擬似人格ぐらい
かと思っただのに……
本当に本人なの？

驚い……た

!!?

ああ……
特殊な思念通信で
寄生体を操っている
それはつまり
フェイト執務官も私の
支配下というわけだ

実を言うと もうかなり前に
フェイト執務官の
リンカーコアは掌握済み
だったんだがね
キミ一人だけを
誘いだすために
ウンを部分的に敗り
ばめて、あの二佐の女に
教えてやった

ククツ……まったく……
残念だったねえ

処女を失ってまで
得た横報が
更に自分を窮地に
追いやる内容
だったのだから

!!!



なにせ私は…キミの
その不屈の心を
堪す良い方法を…

思いついたの
だから



そうまでして…
私に八つ当たり
して楽しい？

ハハツ…私を
挑発する気がい？
やめておきたまえ

ザリッ



ねッ？
なのはっ！

私になら
心を開いて
くれるよね？

なッ……

ドキッ



フエイト…ちや…
ハハハハッ

ちよつと声色を
変えただけで
この動揺

やはり
思った通りだ

私に対しては堅い守りも
この女の身体を使えば
キミの内面に触れ放題



少し手の込んだ
演出を味わって
みたまえ

ズッ…



いける…

声色だけで
こうなら
間違はなく
壁とせるな

ククク…



…なのかな？

これ……



違う……

今度は……
声だけじゃ
ないッ



そんなの……
スカリエツティに行動を
決められて動いて
いるだけの……偽者だよ



今ね……この人格は
スカリエツティからの
干渉を弱めて

私本来の意識をベースに
性格を改変して
作り出してるんだ
これならアイツじゃなくて……
私を私としてもっと
見えるんじゃない？

あなたは……
フェイトちゃん
じゃない



ふふ……
本当にそう
割り切れる？

確かに操り人形かも
しれないけど……
顔も声も……記憶すら
すべて元と同じ





もど...
やめて...

はッ...
はッ...



どうして?

やめて...??



はッ...
はッ...

ここだけはいつも
洗うの断ってたよね

パリアジャケットでも
しきりに隠したがるのは
空気も触れた
だけでもくすぐ
ったいからでしょ

自分で
やるって



...ああッ!
あ...ッ

ビク

ビク
ビク

ねえ この音
聞こえてる?
寒いよ...
なのはのアソコ
熱くて...すぶ濡れ...

ここはもう
こーんな風に
濡れ始めて
るのに?

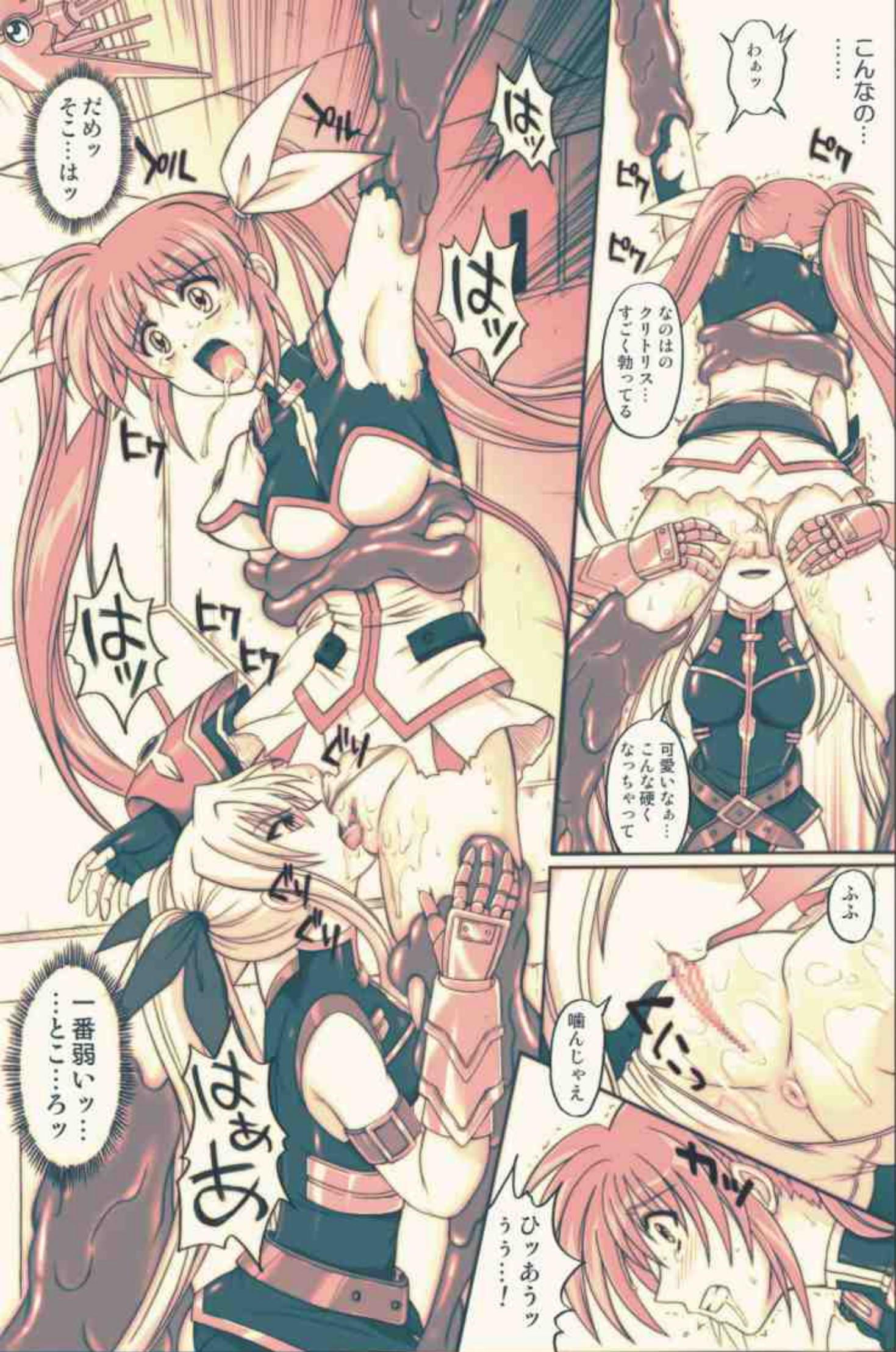
ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

だッ...だめ!
やめてえ...ッ



こんなの…

わぁッ

なのはの
クリトリス…
すごく勃ってる

可愛いなあ…
こんな硬く
なっちゃって

ふふ

噛んじゃえ

ひッあうッ
うう…!

だめッ
そこ…はッ

一番弱いッ…
…とこ…ろッ



頭では...
分かってるのッ

イル
イルッ

はッ

はッ

フェイトちゃん
とは違つて
分かっているのッ



カアア...



スカリエッテの
...言つどおりのだッ

悔しい...
...

感じ
ちやうツ



ヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

出ちゃう!!
出ちゃう!!

体が言う
こと...聞いて
くれないッ!

ズ
ズ
ズ

ヒッ
ヒッ

ズ
ズ
ズ



あはっ...
凄いやなのは!



潮...
ふいてるッ!

エッチな汁...
ドクターの時は
こんな事なかったのに...
撒き散らしてるよ!



ふふ...

やっぱり私が
相手だと
腕くくなっちゃう
んだね

だから
なのは大好きッ



あーなんか
もう...

そんな
とろけたカオを
見せられ
ちゃったら...



どろろ



ああ…あ

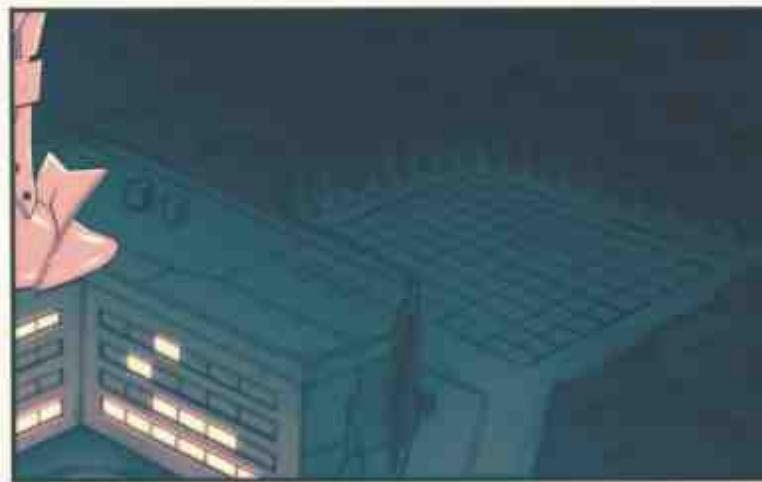


[Chapter - 6]



いくら何でも
遅すぎます

主はやて…



やはり高町でも
相手がチスタロッサ
なら不覚をとる事も…

…せやけど
シクナム

もしも
なのはちやんが
不覚をとって
いたとして…

それだけの
大事を起こした
フェイトちゃん
はどう扱われると思う？



そら多分
罪には
問われんよ

ただ代わりに…
生死を問わない
攻撃命令が
出るやろうけどな



それは…

しかし
チスタロッサは
操られて
いるんです

事情を説明すれば
罪には…



クラナガンでモニタを
眺めてる方々は
恐怖にかられて
過剰な対応に出る
可能性は多いにあるよ

ゆりかこの件で…
みんなまだ心の中で
スカリエツティを
怖がってるのや

事情が特殊とはいえ
こんな状況で
「なのはちやんが
負けた」なんてこと
地上本部が知ってみたい



?!?



飯に辛い目に
遭ってても…

なのはちゃん自身が
可能な限りの不干渉を
望んどるはずや

もう少し
だけ待とう



……



はあッ…

はあッ…



ちよっと
待っててね

ズル…
ズル…



今…
もう幾つか

追加する
からね



なのは…

ズル…
ズル…

ズル…



い...や...ツツ
お願い止め...て

もうこれ...以上はッ
...無理ッ...
...お願...いッ



うあッ...あ
...あああッ

どう...かな?
多分2倍くらいに
なったと思うけど

あッ...

これで
なのはアソコ
ほんっほんに
なったでしょう?

めりッ
めりッ



だ…めッ!
そんなのッ
入れて…
揺らさ…な

あッ!

んッ!

んッ…
んッ…
んッ…

んッ…
んッ…
んッ…



!!?

やだ…まよ

そんな目で…
…見ないでッ

ああ…あ

フェイト…
…ちゃんッ





嬉しいなあ...



私に見られて... 鬨子が狂っちゃってるの？



あ.....



い...や... そんなの... やめ...?



いいよ それならもっと 見てあげる

なのはこの... 涙とよだれで くしゃくしゃになった顔 たっふり目に 焼き付けるからね



ひあッ...



ふふ...



おかしくなっちゃうところ... 私に 思いつきり 見せて

すん!!!





あゝ…
だめだよ
なのは



ストップ
ストップ



へ…
……



意地悪して
ゴメンね
なのは

だけどここから先…
気持ちよく
なりたいんなら
ちゃんとおねだり
して欲しいな

おね…
…たり?



さっき
言ったよね?
弱いなのは
曝け出して
ほしいって

もしなのはが本当に
私のこと好きで…
それであんな風に
乱れちゃうんなら



その
気持ち

へんに
隠したりしないで
素直に口に出して
ほしいんだ



ねえ…
イきたい?

……



なのはを
気持ちよくさせて
あげられるよ?

私の一声で
いつでも...



.....

.....ッ

.....か
.....せて



お願い
フェイトちゃんッ

イかせてッ!
もう私...ッ
ぐちゃぐちゃに
されたいのッ!



あッ!!!

ズ>>>!!!

.....ん

分かったよ



ドクッ

あッ!!!
ドクッ
ドクッ

ドクッ

ドクッ

あッ!!!

すっ...
...いいよ
き...気持...ち
...いいッ

どう?
...コレ

なのはの弱いところ
同時に...だよ?

気持ち...よくて
...頭...おかしく
なり...そおッ!

ドクッ

くッ

くッ

ドクッ
ドクッ

ドクッ



フフ…
ほくらッ

こっちの穴も
一緒に気持ちよく
してあげるね

フエイト…ちゃん
の…指が…ッ
お尻の中…
…にッ

アツコも…
すごい…突かれて
るの…ッ



足に…力…
入らない
立ってるのも
…無理…だ

ああ…
ダメ…

こんなの…
…もどろ…ッ



はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

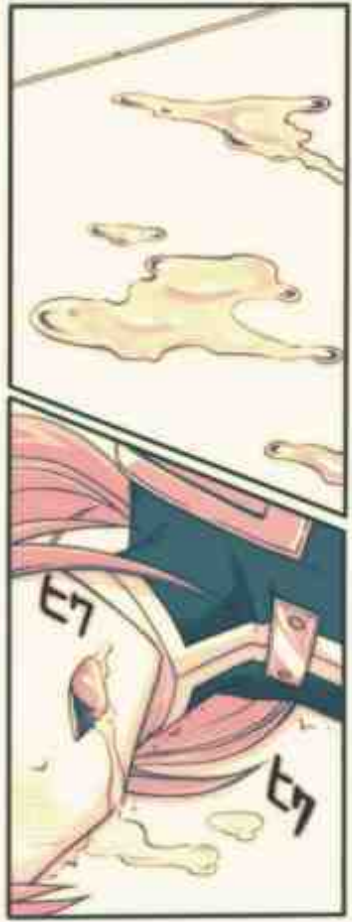
あーあーあー

はっはっ



いい顔に
なったよ…
…なのは

ふふ…



あ…



強固だった
なのはの心は
もうポロポロ

私に
イカされて



ついに
…

堕ちたね

なのはちゃん

フエイトちゃんと
キスした事あるか？



なのはワリ
ちよつとだけ……

……どうもたのなめはつ
……早くも……
……集合……

今回は
ロストロギア回収の
任務で偶然

薄鳴に来たんだし

また今度

お休みもらえた時に
ゆつくり来ようよ

うん……ごめん
フエイトちゃん

でも……あと
ちよつとだけ……
こつちだよこつち!

こつちって……

すずかの家の庭は
広いんだから

ちゃんとした道を
通っていかないで
迷っちゃうよ?

えっと……
突然なんだけどさ

この前……スバルと
ティアナに色々
話す機会があつてね

あの2人……
出会は訓練校で
初日からの付き合い
らしいんだけど……

スバルいわく
初めてティアナと
目を合わせた時の
不思議な感覚が
今となつては
心地良いらしくて

それを一番よく思い出せる
訓練校にたまに行くのが
あの子の楽しみの一つなんだって

それを聞いて私ね

羨ましくて……
覚悟を決めちゃった

今まで
フエイトちゃんに
黙ってたこと……
正直に言おうって

黙ってたこと?

スバルと
ティアナと通つて
はら……
私達は昔
敵同士だったし

途中……
色々あつた

だから私達の始まりは
……名前を呼び合った
あの日からだって
自分に言い聞かせて
ただだけと

でも本当は
違うんだよね

私：
フェイトちゃんとの
思い出はここから
始まっているの

え？

……

すすかの
家が……

私と
なのなの？

覚えて
ないかな？
ジュエルシードで
大きくなった
猫のこと

あれ……
ここなんだよ

!!?

ここが始まり

私達が
出会った場所

まああの時は私……
すぐ食べちゃったから
ほんの僅かな時間
だったんだけど

それにしても本当に
スバルの
言うとおりだなあ
2人で来ると……
かなり鮮明に覚えて
るのが分かる

あの日見た
フェイトちゃんの様が
どんとん頭に浮かんでくる

勿論あの頃の記憶には……辛い事も
含まれているから……どうしよう
のつて自分勝手かもしれない

気持ちも
共有したいなって
ずっと思ってた

なのなの？

あの時はすて〜

暖かかったのに……



おっはいで
避ほうか？

ふふ…次は
どんな事
されたい？

ああ……私……
なに言い訳して
たんたろう

フェイト
ちゃんのキス……

……
全然違うッ





ごめ…んね…
フエイトちゃん

フエイトちゃんが
苦しんでる時に私…

あんな
情けない姿を
晒して……

本当に……
ごめんね



感じちゃうのは…
「フエイトちゃん」
見られているから？

フエイトちゃんを
見ている前だから…
もっとなんか
いけなかったの

逆だよっ



でも……
…もう平気

フエイトちゃんの事を
思い出してたら…
もっとなんか
なったから

もし声だけでも
聞こえてたら
……安心して

グイッ



まだまだ
私…

大丈夫
だよ

……



本当に
思い通りに
ならないなあ

キミはッ



フエイト執務官に
これだけされても
まだ折れないとは…

いい加減
腹が立って
くるよ

スカリ…
エッ…

予定を
変更する

あがあ

ゴゴッ
ゴゴッ

その
代わりに

私の役に立って
もらおうか

ゴゴッ

ゴゴッ

ゴゴッ

ゴゴッ...

...あッ

あ...
...かあッ

ゴゴッ...

もうお前を
落とすのは
諦めるよ

[Chapter-6 END]





Next...

Last episode : 865